



地域の力が犯罪や非行防ぐ

7月の「社会を明るくする運動」強調月間に合わせ、総理大臣メッセージ伝達式が行われ、北播保護区西多分区保護司会のメンバーが片山市長を訪ねました。岩本幸久会長は「犯罪や非行の防止と立ち直り支援は、社会全体で取り組むことが大切」などと総理大臣メッセージを読み上げました。運動は犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くために行われる全国的な取り組みで、今年で72回目。〔7月1日／市役所〕



中学生が交通安全運動の啓発

夏の交通事故防止運動に合わせ、黒田庄中学校の3年生や西脇多可交通安全協会、西脇警察署員ら約40人が、街頭啓発を実施。国道175号を走行するドライバーのほか、スーパーや薬局の買い物客らに安全運転を呼び掛けながら、啓発チラシやグッズを手渡しました。運動開始日の15日には、協会の皆さんは茜が丘複合施設みらいえでも実施し、来館者に啓発しました。〔7月17日、国道175号田高交差点など〕



「東播丹波連絡道路」早期実現を一促進大会開催

「国道175号東播丹波連絡道路」の早期実現を目指し、西脇市と丹波市、両市の整備促進協議会で作る実行委員会が促進大会を開催。沿線の地域住民や行政関係者など、約150人が出席しました。東播丹波連絡道路は中国自動車道・滝野社インターと北近畿豊岡自動車道・氷上インター付近の約30*を結ぶ「高規格道路」。地域経済の活性化や渋滞の解消、救急搬送の時間短縮、災害時の交通確保などが期待されています。大会では、計画的に道路整備を進めるための十分な予算確保のほか、全線の早期実現を求める決議書を採択。実行委員会会長の片山市長らが藤井比早之衆議院議員らに、早期の全線開通と黒田庄町以北の早期事業化などを求める要望書を手渡しました。〔7月18日／市民交流施設〕



災害時物資輸送で連携

災害時に支援物資を円滑に輸送するため、兵庫県トラック協会と「災害時における物資等の緊急輸送等に関する協定」を締結。支援物資が行き渡るように、同協会は市の要請を受けて緊急輸送に協力します。〔7月15日／市役所〕



みらいえで水遊び満喫

こどもプラザと男女共同参画センター、西脇パパサークルJAOによる水遊びのイベントで、ウォーターライダーが登場。参加した子ども34人は、水しぶきを上げながら滑り降りました。〔7月18日／茜が丘複合施設みらいえ〕



4回目の集団接種開始

新型コロナウイルスワクチンの4回目の集団接種が始まりました。60歳以上と基礎疾患のある方等が対象で、3回目の接種から5ヵ月以上経過すると受けることができ、初日には297人が接種を受けました。〔7月7日／旧市民会館〕



薬物の危険性学ぶ特別授業

西脇ライオンズクラブが薬物乱用防止教室を開き、西脇中学校の全校生徒が薬物の危険性を学習しました。東播少年サポートセンターの講師は薬物の種類や隠語、症状などを紹介。「依存症に陥ると、薬物を手に入れるために犯罪に手を染めることが多い」と語り、薬物に手を出さないよう強く訴えました。〔7月8日／西脇中学校〕



関学生がふるさと納税の事業提案

包括的連携協定を結ぶ関西学院大学の総合政策学部で都市財政論を受講する14人が、本市のふるさと納税に関する施策を研究。日本酒の飲み比べとキャンプを組み合わせた体験型の返礼品や、市外からの来訪者が手軽にふるさと納税をできる自動販売機の設置などを片山市長らに提案しました。〔7月9日／茜が丘複合施設みらいえ〕